広報・報道

広報・報道一覧

広報紙・外部広告等実績

実施日	内容	本書掲載
令和4年10月	令和5年版富山県民手帳	
令和4年11月7日	北日本新聞広告（出展募集）	
令和4年11月30日	北日本新聞広告（出展募集）	●
令和5年2月17日	タブロイド紙「conocoto PLUS」第8号	●
令和5年3月1日～6月30日	JR富山駅構内デジタルサイネージ	●
令和5年3月	食と農とむらを考える情報誌「ふるさと夢とやま」44号	●
令和5年4月29日	北日本新聞広告（プレバスツアー参加者募集）	●
令和5年5月1日	幼稚園・保育園向け食育情報誌「いただきます　ごちそうさま」夏号	
令和5年5月1日～31日	郵便局　富山県内209局（ポスター掲示）	
令和5年5月1日～6月23日	損保ジャパン（チラシ配布）	
令和5年5月1日～6月30日	県庁前公園ポケットパーク掲示板（ポスター掲示）	
令和5年5月10日	広報誌「富山情報」5/10号	
令和5年5月14日	カターレ富山ホームゲーム　ブース出展	
令和5年5月14日	第36回 富山県民歩こう運動推進大会	●
令和5年5月16日～6月25日	あいの風とやま鉄道16駅（ポスター掲示）	
令和5年5月19日	北日本新聞広告（バスツアー参加者募集）	●
令和5年5月25日	富山で子育て応援マガジン「はっぴーママ富山版85号」	●
令和5年5月25日	フリーマガジン「ゼロニイ5/25発行号」	●
令和5年5月25日	広報となみ6月号	
令和5年5月27日	北日本新聞、読売新聞、富山新聞、北陸中日新聞「県からのお知らせ」	●
令和5年6月1日～30日	JR西日本新幹線3駅　富山地方鉄道11駅（ポスター掲示）	
令和5年6月1日～30日	道の駅　富山県内9駅（ポスター掲示）	
令和5年6月1日～30日	ローソン　富山県内180店舗（ポスター掲示）	
令和5年6月1日～30日	デイリーヤマザキ　富山県内5店舗（ポスター掲示）	
令和5年6月1日～30日	アルビス　富山県内38店舗（ポスター掲示）	
令和5年6月1日～30日	損保ジャパン　富山県内（ポスター掲示）	
令和5年6月2日	FMとやま「とやま情報スクエア」10：30～10：35内、17：35～17：40内	
令和5年6月4日	歯っぴーフェスタ8020	●
令和5年6月5日	富山県市町村新聞	
令和5年6月9日	私立幼稚園・認定こども園　富山県内50園（ポスター掲示）	
令和5年6月9日～25日	富山県民会館駐車場北側県政広報ビジョン動画放映	●
令和5年6月12日	FMとやま「とやま情報スクエア」10：55～11：00内、17：30～17：35内	
令和5年6月12日～25日	SNS広告、WEB広告（YouTube、Facebook&Instagram）	●
令和5年6月14日	広報誌「富山情報」6/14号	
令和5年6月17日	北日本放送「こんにちは富山県です」9：30～9：45	●
令和5年6月17日	北日本新聞、読売新聞、富山新聞「県からのお知らせ」	
令和5年6月17日	はっぴーママ富山版LINE	
令和5年6月17日～23日	あいの風とやま鉄道4駅駅貼り（ポスター掲示）	●
令和5年6月18日～25日	テレビCM（北日本放送）	
令和5年6月18日～25日	JR富山駅2階踊り場ミニ庭園（富山中央農業高校制作）	
令和5年6月19日～23日	ラジオCM（北日本放送）	
令和5年6月20日～26日	富山地方鉄道バス車内（ポスター掲示）	●
令和5年6月21日	はっぴーママ富山版編集部Instagram、Twitter、Facebook	●
令和5年6月23日	北日本放送ラジオ「でるラジ」13：10～内	
令和5年6月23日～25日	北日本新聞広告	●

雑誌記事・広告

▶ 北日本新聞
令和4年11月30日（水）掲載

▶ 北日本新聞
令和5年4月29日（土）掲載

▶ 北日本新聞、読売新聞、
富山新聞「県からのお知らせ」
令和5年5月27日（土）掲載

▶ 北日本新聞 令和5年5月19日（金）掲載

▶ 北日本新聞
令和5年6月24日（土）掲載

▶ 北日本新聞 全面広告
令和5年6月24日（土）掲載

▶ タブロイド紙「conocotoPLUS」第8号
令和5年2月17日（金）掲載

▶ 食と農とむらを考える情報誌「ふるさと夢とやま」44号
令和5年3月掲載

▶ フリーマガジン「ゼロニイ 5/25発行号」
令和5年5月25日（木） 掲載

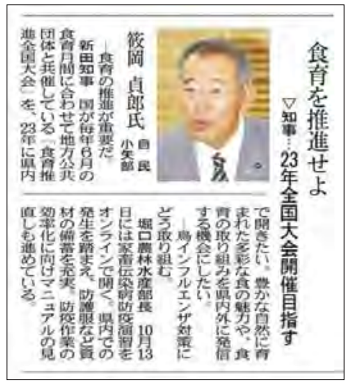
▶ 富山で子育て応援マガジン 「はっぴーママ富山版 85号」
令和5年5月25日（木）掲載

広報・報道

新聞記事（掲載の一部を抜粋）

※記事等については、各社の承諾を得て転載しております。

▶ **北日本新聞**
令和3年9月25日（土）掲載



食育を推進せよ
▽知事…23年全国大会開催目指す

篠岡 貞郎氏（自民 小矢部）

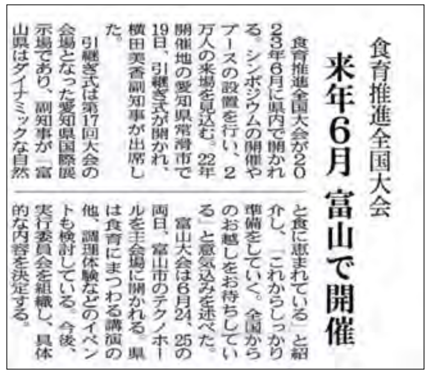
―食育の推進が重要だ

新田知事　国が毎年6月の食育月間に合わせて地方公共団体と共催している「食育推進全国大会」を、23年に県内で開きたい。豊かな自然に育まれた多彩な食の魅力や、食育の取り組みを県内外に発信する機会にしたい。

―鳥インフルエンザ対策にどう取り組む。

堀口農林水産部長　10月13日には家畜伝染病防疫演習をオンラインで開く。県内での発生を踏まえ、防護服など資材の備蓄を充実。防疫作業の効率化に向けマニュアルの見直しも進めている。

▶ **北日本新聞**
令和4年6月20日（月）掲載



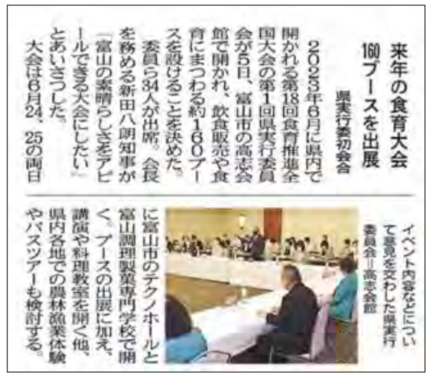
食育推進全国大会
来年6月 富山で開催

食育推進全国大会が2023年6月に県内で開かれる。シンポジウムの開催やブースの設置を行い、2万人の来場を見込む。22年開催地の愛知県常滑市で19日、引継ぎ式が開かれ、横田美香副知事が出席した。

引継ぎ式は第17回大会の会場となった愛知県国際展示場であり、副知事が「富山県はダイナミックな自然と食に恵まれている」と紹介し、「これからしっかり準備をしていく。全国からのお越しをお待ちしている」と意気込みを述べた。

富山大会は6月24、25の両日、富山市のテクノホールを主会場に開かれる。県は食育にまつわる講演の他、調理体験などのイベントも検討している。今後、実行委員会を組織し、具体的な内容を決定する。

▶ **北日本新聞**
令和4年7月6日（水）掲載



来年の食育大会
160ブースを出展
県実行委初会合

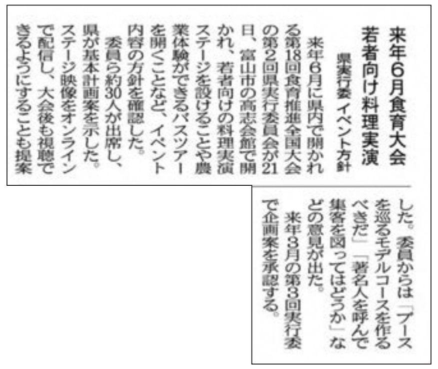
2023年6月に県内で開かれる第18回食育推進全国大会の第1回県実行委員会が5日、富山市の高志会館で開かれ、飲食販売や食育にまつわる約160ブースを設けることを決めた。

委員ら34人が出席。会長を務める新田八朗知事が「富山の素晴らしさをアピールできる大会にしたい」とあいさつした。

大会は6月24、25の両日に富山市のテクノホールと富山調理製菓専門学校で開く。ブースの出展に加え、講演や料理教室を開く他、県内各地での農林漁業体験やバスツアーも検討する。

イベント内容などについて意見を交わした県実行委員会＝高志会館

▶ **北日本新聞**
令和4年12月22日（木）掲載



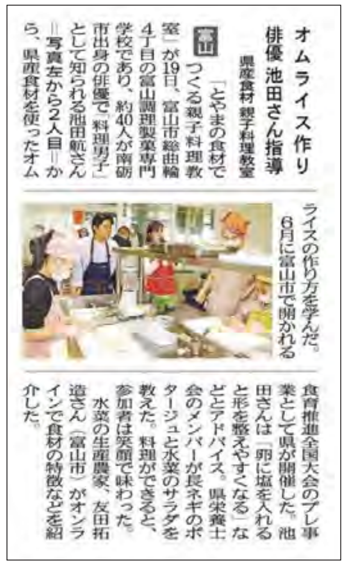
来年6月食育大会
若者向け料理実演
県実行委 イベント方針

来年6月に県内で開かれる第18回食育推進全国大会の第2回県実行委員会が21日、富山市の高志会館で開かれ、若者向けの料理実演ステージを設けることや農業体験ができるバスツアーを開くことなど、イベント内容の方針を確認した。

委員ら約30人が出席し、県が基本計画案を示した。ステージ映像をオンラインで配信し、大会後も視聴できるようにすることも提案した。委員からは「ブースを巡るモデルコースを作るべきだ」「著名人を呼んで集客を図ってはどうか」などの意見が出た。

来年3月の第3回実行委で企画案を承認する。

▶ **北日本新聞**
令和5年3月21日（火）掲載



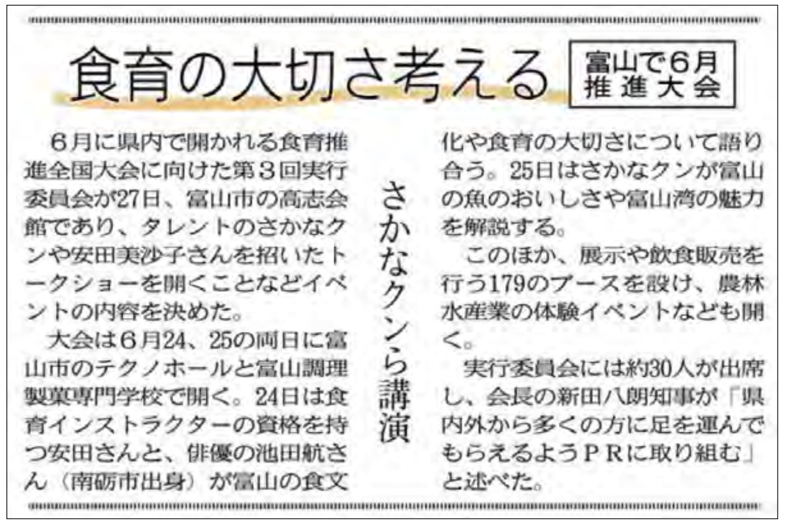
オムライス作り
俳優 池田さん指導
県産食材 親子料理教室

【富山】「とやまの食材でつくる親子料理教室」が19日、富山市総曲輪4丁目の富山調理製菓専門学校であり、約40人が南砺市出身の俳優で「料理男子」として知られる池田航さん＝写真左から2人目＝から、県産食材を使ったオムライスの作り方を学んだ。

6月に富山市で開かれる食育推進全国大会のプレ事業として県が開催した。池田さんは「卵に塩を入れると形を整えやすくなる」などとアドバイス。県栄養士会のメンバーが長ネギのポタージュと水菜のサラダを教えた。料理ができると、参加者は笑顔で味わった。

水菜の生産農家、友田拓造さん（富山市）がオンラインで食材の特徴などを紹介した。

▶ **北日本新聞 令和5年3月28日（火）掲載**



食育の大切さ考える
富山で6月推進大会
さかなクンら講演

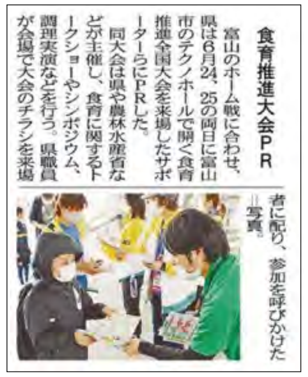
6月に県内で開かれる食育推進全国大会に向けた第3回実行委員会が27日、富山市の高志会館であり、タレントのさかなクンや安田美沙子さんを招いたトークショーを開くことなどイベントの内容を決めた。

大会は6月24、25の両日に富山市のテクノホールと富山調理製菓専門学校で開く。24日は食育インストラクターの資格を持つ安田さんと、俳優の池田航さん（南砺市出身）が富山の食文化や食の大切さについて語り合う。25日はさかなクンが富山の魚のおいしさや富山湾の魅力を解説する。

このほか、展示や飲食販売を行う179のブースを設け、農林水産業の体験イベントなども開く。

実行委員会には約30人が出席し、会長の新田八朗知事が「県内外から多くの方に足を運んでもらえるようPRに取り組む」と述べた。

▶ **北日本新聞**
令和5年5月16日（火）掲載

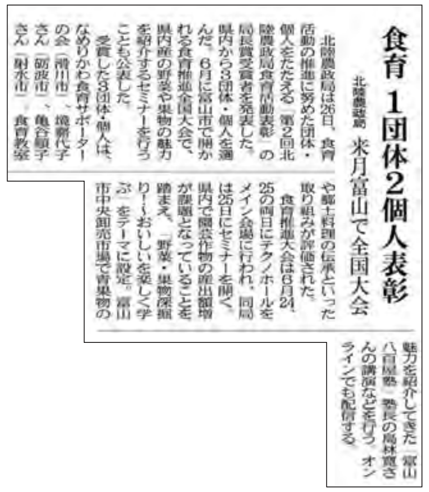


食育推進大会PR

富山のホーム戦に合わせ、県は6月24、25の両日に富山市のテクノホールで開く食育推進全国大会を来場したサポーターらにPRした。

同大会は県や農林水産省などが主催し、食育に関するトークショーやシンポジウム、調理実演などを行う。県職員が会場で大会のチラシを来場者に配り、参加を呼びかけた＝写真。

▶ **北日本新聞令和5年5月27日（土）掲載**



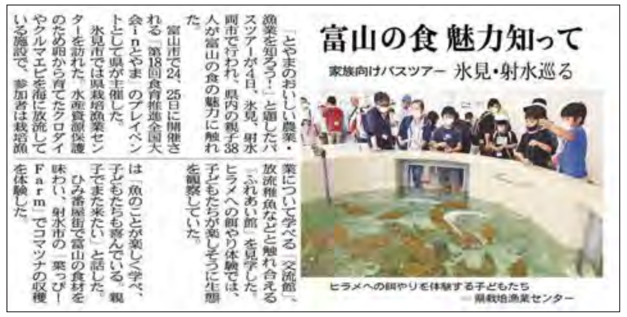
食育 1団体2個人表彰
北陸農政局 来月富山で全国大会

北陸農政局は26日、食育活動の推進に努めた団体・個人をたたえる「第2回北陸農政局食育活動表彰」の局長賞受賞者を発表した。県内から3団体・個人を選んだ。6月に富山市で開かれる食育推進全国大会で、県内産の野菜や果物の魅力を紹介するセミナーを行うことも公表した。

受賞した3団体・個人は、なめりかわ食育サポーターの会（滑川市）、境新代子さん（砺波市）、亀谷順子さん（射水市）。食育教室や郷土料理の伝承といった取り組みが評価された。

食育推進大会は6月24、25の両日にテクノホールをメイン会場に行われ、同局は25日にセミナーを開く。県内で園芸作物の産出額増が課題となっていることを踏まえ、「野菜・果物深掘り！～おいしいを楽しく学ぶ」をテーマに設定。富山市中央卸売市場で青果物の魅力を紹介してきた「富山八百屋塾」塾長の高林寛さんの講演などを行う。オンラインでも配信する。

▶ **北日本新聞 令和5年6月5日（月）掲載**



富山の食 魅力知って
家族向けバスツアー 氷見・射水巡る

「とやまのおいしい農業・漁業を知ろう！」と題したバスツアーが4日、氷見、射水両市で行われ、県内の親子38人が富山の食の魅力に触れた。

富山市で24、25日に開催される「第18回食育推進全国大会inとやま」のプレイベントとして県が主催した。

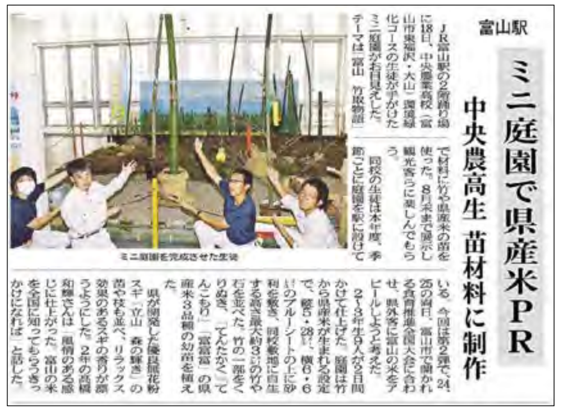
氷見市では県栽培漁業センターを訪れた。水産資源保護のため卵から育てたクロダイやクルマエビを海に放流している施設で、参加者は栽培漁業について学べる「交流館」、放流稚魚などと触れ合える「ふれあい館」を見学した。ヒラメへの餌やり体験では、子どもたちが楽しそうに生態を観察していた。

は「魚のことが楽しく学べ、子どもたちも喜んでいる。親子でまた来たい」と話した。

ひみ番屋街で富山の食材を味わい、射水市の「菜っぴー！Farm」でコマツナの収穫を体験した。

ヒラメへの餌やりを体験する子どもたち＝県栽培漁業センター

▶ **北日本新聞 令和5年6月19日（月）掲載**



富山駅

ミニ庭園で県産米PR
中央農高生 苗材料に制作

JR富山駅の2階踊り場に18日、中央農業高校（富山市東福沢・大山）環境緑化コースの生徒が手がけたミニ庭園がお目見えした。テーマは「富山　竹取物語」で材料に竹や県産米の苗を使った。8月末まで展示し、観光客らに楽しんでもらう。

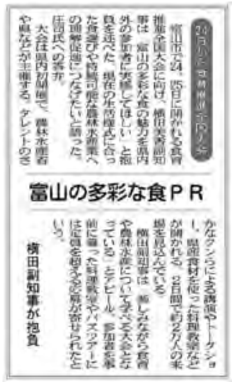
同校の生徒は本年度、季節ごとに庭園を駅に設けている。今回は第2弾で、24、25の両日、富山市で開かれる食育推進全国大会に合わせ、県外客に富山の米をアピールしようと考えた。

2～3年生9人が2日間かけて仕上げた。庭園は竹から県産米が生まれる設定で、縦5・28㍍、横6・6㍍のブルーシートの上に砂利を敷き、同校敷地に自生する高さ最大約3㍍の竹や石を並べた。竹の一部をくりぬき、「てんたかく」「てんこもり」「富富富」の県産米3品種の幼苗を植えた。

県が開発した優良無花粉スギ「立山　森の輝き」の苗や枝も並べ、リラックス効果のあるスギの香りが漂うようにした。2年の高橋和輝さんは「風情のある感じに仕上がった。富山の米を全国に知ってもらうきっかけになれば」と話した。

ミニ庭園を完成させた生徒

▶ **北日本新聞**
令和5年6月22日（木）掲載



24日から食育推進全国大会

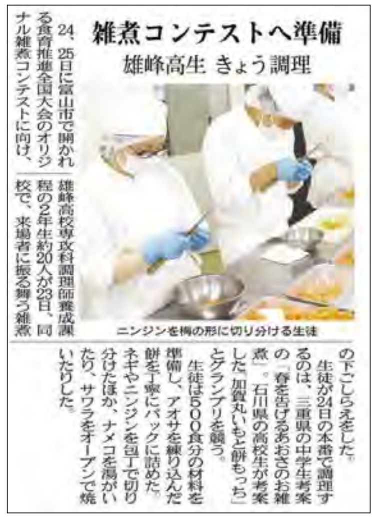
富山市で24、25日に開かれる食育推進全国大会に向け、横田美香副知事は「富山の多彩な食の魅力を県内外の参加者に実感してほしい」と抱負を述べた。現在の生活様式に合った食選びや持続可能な農林水産業への理解促進につなげたいと語った。[illegible]

大会は県内初開催で、農林水産省や県などが主催する。タレントのさかなクンらによる講演やトークショー、県産食材を使った料理教室などが開かれる。2日間で約2万人の来場を見込んでいる。

富山の多彩な食PR
横田副知事が抱負

横田副知事は「楽しみながら食育や農林水産について学べる大会となっている」とアピール。参加者を事前に募った料理教室やバスツアーには定員を超える応募が寄せられたという。

▶ **北日本新聞**
令和5年6月24日（土）掲載



雑煮コンテストへ準備
雄峰高生 きょう調理

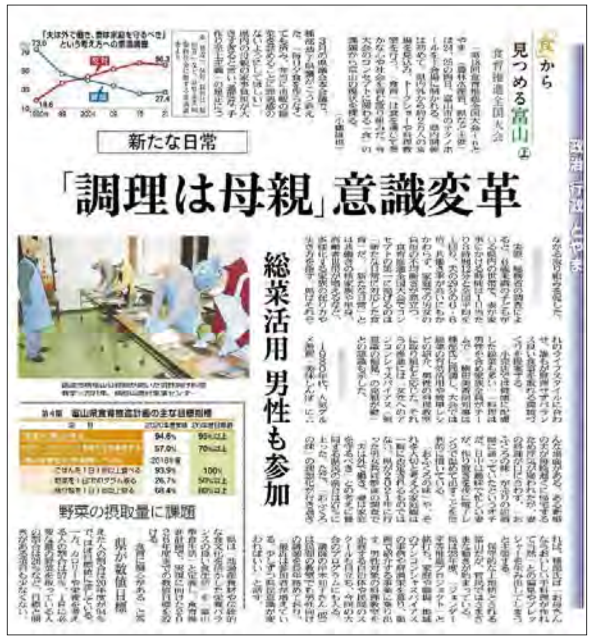
24、25日に富山市で開かれる食育推進全国大会のオリジナル雑煮コンテストに向け、雄峰高校専攻科調理師養成課程の2年生約20人が23日、同校で、来場者に振る舞う雑煮の下ごしらえをした。

生徒が24日の本番で調理するのは、三重県の中学生考案の「春を告げるあおさのお雑煮」。石川県の高校生が考案した「加賀丸いもと餅もっち」とグランプリを競う。

生徒は500食分の材料を準備し、アオサを練り込んだ餅を丁寧にパックに詰めた。ネギやニンジンを包丁で切り分けたほか、ナメコを湯がいたり、サワラをオーブンで焼いたりした。

ニンジンを梅の形に切り分ける生徒

▶ **北日本新聞 令和5年6月24日（土）掲載**



食から見つめる富山 ㊤
食育推進全国大会

新たな日常

「調理は母親」意識変革
総菜活用 男性も参加

野菜の摂取量に課題

県が数値目標